

3月1日以降の生活について

2020.02.29

神奈川学園中学・高等学校

今日は予定を急に変更して全校のみなさんに集まってもらうことになりました。

新型コロナウイルスをめぐる状況は、ほんとうに毎日、目まぐるしく変わっています。2月27日には政府から「すべての小中高と特別支援学校は、3月2日から休業に入るように」との要請もありました。本校では、2月27日から3月4日まで授業停止にする予定でいました。しかし、政府の要請と現状とを考え合わせながら、もう一度改めて検討をしました。その結果、潜伏期間が2週間とされる疫学的な観点をふまえ、より安全を期して3月2日から3月20日まで、授業停止をする判断をしました。

学年末考査を実施できないことについて

そもそも、ですが、この時期にこのような落ち着かない状況の中でみなさんとお話せざるをえないこと自体、たいへん残念な思いでいます。それは、この3月という時期が、本来1年間のまとめをし、そして次の学年へとステップアップしていくためのとても大切な時期だからです。そして、その中でも学年末考査は非常に重要な意味をもつものでした。

定期考査は、なぜあるのでしょうか。定期考査は成績が出るし、点数で評価される面があるので、多くのみなさんにとってとても嫌な、気の進まないものであるかもしれません。もちろん、定期考査はみなさんの努力を評価する意味があります。みなさんがせっかくこれまで努力してきた成果を発揮する機会を失うこと、私たち教員がみなさんの努力を確認できないことは、ほんとうに残念なことです。ですが、実は、定期考査はそれだけのためものではありません。定期考査を通して、どこが理解できていて、どこがまだ不十分なのか、それまでの学習内容をチェックし、課題を明らかにして次への取り組みにつなげるためにあるのです。今回は、その大切な機会を中止せざるをえないこととなりました。

そのような重要な取り組みをなぜ中止せざるをえないと判断したかということ、言うまでもなく、それ以上に大切なみなさんの健康をより優先したからです。この1～2週間が感染拡大を防ぐ瀬戸際というのが国の見解です。国が一番心配だと言っているこの時期に、多くの人が公共交通機関を利用して通学をしているみなさんを、考査期間とは言え、毎日集めることで、感染の危険にさらすことはできないと改めて判断しなおしたということです。

ですが、このことは同時に、学年末考査がない分、この3学期の取り組みをみなさん自身がもう一度、自分の手で整理しなおし、自分の知識として定着させなければならないことを意味します。それがしっかりと自分のものになっていない限り、来年度のスムーズなスタートは切れません。学年や教科によっては、新年度の課題テストの中で今回の範囲を訊きなおす場合もあります。こうした今後の課題については今日この後、担任の先生からの説明があると思いますが、そうした課題、テストがあってもなくても、今後の期間でまず、3学期の学習の振り返りをしてください。そして不十分な点はもう一度授業のノートや教科書を見直して、確実に自分のものにしていきましょう。そうして、3学期の学習事項をしっかりと身につけた上で、みなさんには進級してほしいと思います。

なお、学年末考査ができないことに伴って評定の確定についてですが、現在ある材料、小テストや提出物などをもとにできるだけ評価し、それをもとに3学期の評定をしたいと考えています。みなさんの努力を最大限評価するためです。一方で、学期の成績確定のために最も重要な学年末考査が実施できないので、どうしても評定確定には材料が不足していると判断せざるをえない教科もあります。その場合は1・2学期の評定をもとに学年成績を確定し、3学期の評定が空欄になることもあります。その場合も、みなさんにとって不利にはならないよう

に成績確定をしますので、安心してください。

「一つ学年が上がる」のに……

みなさんはあと1か月たつと、一つ、学年が上がります。もしかするとみなさんの中には4月に「自動的に」学年が上がるように思っている人もいるかもしれませんが、実際にはそうではありません。

中学1年生のみなさんには、来年度、下級生ができます。中学2年生のみなさんは、中学最高学年になります。中学3年生のみなさんは、「高校生」になり、「単位制」に移行します。高校1年生のみなさんは、部活動でも委員会でも中心学年となり、自分の進路に合わせた学習も本格的に始まります。高校2年生のみなさんはいよいよ卒業を間近に控えた最高学年となり、また真の意味で「受験生」にもなっていくます。今は、その新しい学年へのステップアップを控えた時期です。そしてもちろん、1年間を過ごしてきたクラスの区切りの期間でもあります。

学年の先生方は「それなのに……」という思いでいっぱいです。そんな大事な時期だからこそ、みなさんに伝えたいことがいっぱいあります。「それなのに」、そのいっぱいあるメッセージをみなさんに伝えられるのは、今日の限られた時間と、そして（事態が多少落ち着くことが前提ですが）次の登校日、3月21日（土）しかないのです。

ぜひ、この後の先生方のお話を一言も聞き漏らさない気持ちで聞いてください。そして、みなさん自身に求められるのはどのようなことなのか（その課題は学年ごとによって異なります）、しっかりと受け止めて、この後の生活をイメージし、行動に移してほしいと思っています。

自分の学習を創りあげよう

今日、この後、みなさんには今後の学習課題が先生方から示されると思います。急なことだったので、今日に間に合わなかった課題は、場合によってご自宅に郵送されたり、ネットで配信されたり（高校1・2年生）する場合もあると思います。それらにしっかりと取り組んでほしいことはもちろんですが、みなさんに最も望むことは、もしみなさんの中に「課題だけをやればいい」と思っている気持ちがある人がいるとすれば、それを乗り越えてほしいということです。

先ほども言いましたが、今は本来学年末考査に向けて1年間の学習の総まとめをし、次へのステップの準備をしている時期です。その機会は残念ながらなくなりましたが、その分、むしろ自分で自分の学習を創りあげよう、そんな時期にしてほしいのです。そのためには、「課題」を出されるのを受け身で待っているのではなく、勉強の上で自分はどういうところがまだ不十分でどういうことに取り組む必要があるのかを、自分自身で見極めて、その課題に自ら取り組んでほしいと思うのです。そういう取り組みを計画し、力をつけていくうえで、今日出された課題を「利用する」くらいの気持ちで取り組んでほしいと思っています。

今、私たちは「あたりまえの生活」が「あたりまえ」に送れない毎日の中にいます。それはたいへん厳しいことですが、同時にそういう日々は自分を成長させるチャンスでもある場合も少なくありません。その厳しい状況を経験することで、むしろ、「あの期間があったから成長できた」といえるような取り組みをしてほしいと思います。

みなさんの次の登校日は3月21日（土）08:25です（もし万一変更があった場合には、前日までにメール連絡をします）。

次に、みなさんと安心安全に会えるためには、みなさん自身が他者からの感染を受けずに、同時に他者に感染をさせないことが大切になります。そのために、繰り返しになりますが、不要不急の外出は避けてください。そして、家庭での生活の中ですべきことを明確にし、取り組んでください。

それでは全員が元気で、3月21日に会えることを祈っています。